

学生からのコメント

どうもこんにちは、じゃんけん勝利して今回この研究室紹介のコメントを書く権利をめでたく獲得した栗原研4年の竹路修一郎です。他の四年生全員このコメントを書きたくて仕方がないといった様子で紹介できないことをひどく残念がっていました。皆の思いの分、はりきって紹介していきたいと思います。

まず学業に関してですが、現在私たちは週一回のセミナーを通じて整数論について勉強しています。今年の4年生のセミナーではサミュエルの『数の代数的理論』を読み進めています。栗原先生やたくさんの先輩方からご指導いただいて毎週中身の濃いセミナーにいただいています。整数論は数学の女王と呼ばれていますが、私は女王様の御顔や御姿の謁見はもちろん、恐らく入城すらできていない若輩兵士です。しかし彼女の城壁をくぐりその広い敷地内を散策するだけでもなんとも芳しい雰囲気満たされており、更に深部へと誘惑します。中の様子が知りたくて城内に居られる先輩方の会話を時々盗み聞きするのですが、どうやら言語が異なるらしく自分の語学力の無さを恥じるばかりです。

次に栗原研のさまざまなイベントについてです。栗原研では毎年恒例な行事として、研究室のメンバーや栗原研のOB・OGの方々が集まって野球の早慶戦を応援しにいきます。今年の春の観戦は悪天候の中の試合観戦でしたが、慶應は早稲田に快勝しとても盛り上がったことが印象に残って



います。

更に夏休みには最大のイベントとして長野県立科にある慶應の立科山荘で合宿を行います。各自与えられた課題を発表するのですが、それ以外の時間は高原でウサギやアルパカと触れ合ったり、軽い登山(とは言っても台風の中で大変だった)をして素晴らしい景色と雰囲気を満喫したりと充実した時間を過ごしました。また夜は皆でバーベキューをしたりと飲み会中に蛇(Snake Lemma)と触れ合ったりと、とても楽しい時間でした。この合宿にもOB・OGの方々が多く参加されていて、栗原研の居心地の良さや縦の繋がりの強さを感じられました。今年も行われなかったのですが「高原の気持ちいい空気の中での草野球」なるものも例年は存在するらしく是非来年こそは・・・、と今から楽しみです。

教員からのコメント



整数論を研究しています。数の世界に入っていくと、深く進めば進むほど美しい世界が広がるのです。ちょうど、山に登ったときに、上に行けば行くほど美しい景色が広がるように、先に進めば進むほど、美しい景色が広がります。写真を撮ってきて、見せてあげたいとも思いますが、やはり写真では本物の感動は伝わらないようです。自分で汗をかいて登ってみて、初めてめぐ

り合える景色は格別です。数理科学科に来て、数学を勉強してみると、今までの数学は子供向けのものだったことがわかんと思います。皆さんも、数理で本物の数学に出会いませんか。なお、整数論は代数系に分類されていますので、まずは代数を勉強してほしいと思います。今までの数学が苦手な人でも、これからの勉強で代数系の科目は十分に間に合います。要は興味を持って自分で進むことです。数理科学科で数の世界の神秘を体験してほしいと思います。